

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

37号

2010.2.13 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 9月26日(土) ...柴刈り大会・いのちの谷整備/定例活動
- 10月12日(月・祝) ...アサギマダラマーキング会/特別活動
- 10月24日(土) ...第11回どんぐり祭り/定例活動
- 10月25日(日) ...天百区区民祭り/特別活動
- 11月15日(日) ...巣箱の清掃/特別活動
- 11月28日(土) ...竹林の整備&竹炭用材づくり/定例活動
- 12月26日(土) 正月準備&梅の剪定/定例活動

9月定例活動

柴刈り大会・いのちの谷整備



▲いのちの谷整備のようす

残暑というより真夏日のような暑さでしたが、出席者16名の盛会になりました。最近是新会員の方々がコンスタントに参会してくださり、また各自の特技を活かしてくださるので活動がスムーズに運んでいます。



▲周りの木にかかって倒れないコナラにロープを掛けて引き倒す

当日は午前中、集いの広場西側にあるいのちの谷で、弱ったコナラの間伐などの作業を行った後、午後は山根口の竹林を整備しました。ここは以前、半分は竹林に半分は山林に戻す計画を立てて竹を切り払った場所ですが、また細い竹が生えてきて、通行にも支障をきたすほどの藪になっていました。それらの竹をどンドン切り払っていくと、アバマキ、コナラ、イソノキ、マンリ

ヨウ、クサギなどの稚樹がたくさん芽生えていました。これらの稚樹を守ってやれば元の山林に戻っていきましょう。しかしそれらが独り立ちするまでにはまだ数回竹との攻防をせねばならないでしょう。



▲山根口の竹林整備のようす

それはさておき、作業終了時には切り開かれて明るくなった空間に爽やかな秋風が吹き込んで心地よい森の一日が終わりました。(伊藤 晶)

アサギマダラマーキング会

10月12日(体育の日)の10時から12時まで、トンボ池南側のフジバカマの畑においてアサギマダラマーキング会を行いました。



▲マーキング会の風景

当日は17人の参加があり、参加者の中にはマーキングのベテランや、初めてマーキングを経験された方など居られましたが、みんなで楽しく教えあい、助け合いながら行いました。

この日の天候は晴れて、気温も20度~25度程度と、アサギマダラが活発に活動する条件であり、予想以上に多くのアサギマダラが飛来し、24頭にマーキングすることが出来ました。参加者のほぼ全員がマーキング出来、楽しい時間を過ごすことが出来ました。(阿部)



▲アサギマダラと記録用紙

10月定例活動

第11回どんぐり祭り



▲ヒノキ林の除伐体験

10月24日(土)恒例のどんぐり祭りが開催されました。今年は「鶴舞公園百歳祭」のイベントと同日の開催となり、一部会員とツリーハガーズが鶴舞公園に参加という状況の中での一日となりました。

その代わりといっは何ですが、名古屋道路建設課の協力を得て、森の南の道路予定敷のヒノキの林で除伐体験を行いました。名古屋市内でヒノキ

の間伐ができる、しかも場所は平坦、直径は15センチ程度と、子供でも参加できる絶好の設定での作業となりました。2グループに分かれ、受け口・追い口と本格的な除伐作業の体験です。倒した後は枝払いと玉切り、記念に切り倒した幹の一部を持ち帰る子もいました。

集いの広場の楽しみは、クラフトや八事の蝶々、そしてお昼にはおなじみのトン汁とこれは毎年恒例のメニュー

です。そして今年の新企画第2弾、昼のコンサートです。天白もりのフォーラムのメンバーである、天白エコアンサンブルによるコンサートです。クラシックギターやオカリナなどによる演奏を森の中で楽しめるひとは今後どんぐり祭りの定番にしていきたいメニューです。天候にも恵まれ、秋の色となった森の中での一、皆最高の贅沢を味わい満足して一日を終わりました。(大館)



▲天白エコアンサンブルによる森のコンサート

天白区区民祭り まつり天白2009



▲丸太切りに挑戦する子どもたち。切った後は、焼き印を押しペンダントなどにして土産に。

10月25日(日)恒例の天白区民祭りに参加しました。森くらぶの出展は森さんお手製のクラフト販売と丸太切り&焼き印の実演です。

去年の区民祭りは大雨で歩く人もいませんでしたが、今年は晴天でお祭り日和の一日でした。多くの人々がブースの前を通り抜け、クラフトも焼き印も大盛況です。

いつもなら他のブースを冷やかしている私が、ブースを離れることなく商売に精を出しました。(ちょっと疲れました)



▲野菜鉄砲や桜の枝のペン立てなどが並ぶクラフトコーナー

営業努力の甲斐があってクラフトは完売し、丸太は木片になりました。子供達にも喜ばれ、とても良い一日だったと思います。(村田)



森山 肇さん

自然に興味があり、同級生であるメンバーに誘われて入会。趣味は草野球。天白区西入町在住。



久野 敏孝さん

園内を散策していて、くらぶの活動を知り入会。趣味は山歩き、写真(木や花)。天白区高宮町在住。

11月定例活動

竹林の整備&竹炭用材づくり

～第5回天白・もりのフィールドサーキット～



▲フィールドサーキット参加者による竹林整備のようす

天白・もりのフォーラムは、天白区内の自然を活動拠点としている市民グループ等の組織です。毎年、各団体の活動を体験する形で、フィールドサーキットを行っています。今年の5回目は森くらぶの当番で「竹林の整備とサツマイモの収穫」を楽しみました。

COP10を控えてか、参加者が50名を超える事態に、急きょ竹林グループとサツマイモグループに分けて活動開始。

竹林グループは、トンボ池北側と山根口の雑木林に侵入した竹の除伐に取



▲フィールドサーキットに集まった大勢の参加者たち

り組みました。直径15センチを超える成長のよい竹も多くかなり重労働でしたが、作業に手慣れた参加者が多かったこともあり、昼までにかなりの量の竹を搬出することができました。今回は切った竹の有効利用を体験していただくということで、枝を払った竹は竹炭の短材に加工し、枝は3月に作った山根口近くの竹垣の補修に使いました。特に専用の竹割り器を使った作業は子供たちに人気で、太い竹を相手に体ごとジャンプする姿は子供らしい元気さにあふれ、見ていてとても楽しいひと時でした。

サツマイモグループは収穫したサツマイモを竹炭で焼いて食べ、森の体験を終えました。

区役所のみなさんお手伝いありがと

うございました。(大館)



▲子どもたちはやっぱりイモ掘りが一番楽しそう



▲除伐した竹の枝で竹垣を補修

巣箱点検 ～野鳥も新築、陽当たり、見晴らし良好な物件がお好み?!～

爽やかに晴れ上がった秋の森をコゲラ、シジュウカラ、メジロ、エナガの混群が木々を縫って軽やかに移動していきます。

巣箱点検も6回目、慣れてきたものの、木々の中の高い枝に掛けてあるものを見つけるのは大変です。「あった、あった!」の叫び声で集まり、竹の竿の先に引っかけて降ろし、清掃して元に戻す作業を営々とこなしていきました。その内に営巣されているかどうかを開ける前に勘で分かるようになると同時に、面白いパターンが見えてきました。

2008年8月の定例活動で新しい巣箱を作ったので、昨年は清掃と同時に新旧の取り替えを行いました。その時、

あまり痛んでいないものはそのまま残して、脇に新しいものを併設しておきました。



▲営巣が確認された巣箱

今年は28の巣箱の内、7つで営巣されていました。なんと、その中の5つは新しい巣箱でした。しかも営巣

されていたのは広々とした空間があり、見通しも良く、陽当たり良好な尾根の近辺に設置されていたものでした。そのほかの巣箱はドバチ、アシナガバチ、スズメバチ、ゴキブリに加えて、今年はカマドウマにも利用されていました。カマドウマがどうやってあんな高いところまで行けたのか?と皆が首をひねりました。

防腐剤の臭いが残っていても新しい巣箱を好むという事実は古澤先生にも驚きのようなものでした。とにかく相生山のシジュウカラは人間に似て「新築、陽当たり良好、見晴らし良好」の住宅好みという結論になって、楽しい気分が終わった巣箱点検でした。(伊藤 晶)

1 2 月 定例活動

正月準備&梅の剪定



▲山根口を飾る門松づくりに精を出すメンバーたち

暮れの押しつまった一日、心配していた雨も朝のうちに止み、ポカポカ陽気の中、18名の会員と途中飛び入りのご婦人数名が、恒例の門松作りに挑戦しました。

最初に山根口に設置する大きな門松を全員で完成させ、その後、各会員が家庭に持ち帰るミニ門松を手掛けました。

すでに切り出している竹を更に形良くノコギリで切る人、うら白や笹などを探しに行く人、そして用意された南天、ウメ、を加えて格好の良い作品が昼前には出来上がりました。

昼食後、トンボ池周辺の整備、梅の剪定、立派に成長したカラタチの枝落とし、以前に切り倒したコナラをシイタケ菌打ち用に切断等で汗を流しました。



▲トンボ池近くでのコナラ除伐作業のようす

一方で炭焼き小屋周りの整備、ウツ



ドデッキを磨き、塗料を使い長持ちさせる準備をする会員もありました。

1月第3週土曜日を予定の炭焼きの準備に炭焼き窯の中に乾燥済みの竹を積み入れる作業もしました。

会員になって三度目の暮れを迎えましたが活動前の準備や、後片づけにご苦労される方々のことを知り、使用した用具、のこぎりをきちんと元に戻すことを徹底させることが大切かと思いました。

午後3時近く、空模様もあやしくなる頃、全作業終了し、解散となりました。

(河野)



▲門松づくりに飛び入り参加してくれた子どもたち

Schedule

【定例活動予定】

集いの広場 10:00集合

2月27日(土) アカマツ林再生プロジェクト

3月27日(土) 第12回萌木まつり

4月24日(土) 総会 & 森の点検
(以後の予定は、総会で決定します)

●●●●● 会員募集中! ●●●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は_____

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。
○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

Information

【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address :

aioiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

http://f44.aaa.livedoor.jp

/~oasis/index.html

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!